

7月31日(金)第163回定例会が(財)日本規格協会東北支部において開催された。はじめに品質工学研究発表大会2日目(6月30日)に行なわれた研究会意見交換会に、小野元久会長と齋藤誠が東北品質工学研究会を代表して出席したので、その内容を報告した。報告を元に東北品質工学研究会の運営について議論した。その後、事例検討が行われた。

1.新しく開発した照度計のアンブ部における機能性評価 大久保克俊(㈱仙台ニコンプレシジョン)9月に行なわれる機能性評価祭りのポスターセッションで発表予定の事例について発表に向けたアドバイスがあった。新しく開発した照度計の機能性評価について、入出力や計測方法を工夫した事例を紹介し分散分析の方法や誤差因子の内容についてディスカッションされた。

2.QES2009金賞受賞事例の紹介 宇井友成(アルプス電気(株)) QES2009で金賞を受賞した事例「直動滑り摩擦における摺動特性の研究(2)」について紹介があった。

議事録：沼澤陽介(宮城教育大学)